

【2023 年第 3 号】

香港を国際的な「創新科技」センターへ 2032 年までの青写真を公表

2023 年 3 月 2 日

山本 晃一 YAMAMOTO KOICHI

香港法人営業部
アドバイザー室

T +852-2249-3002

E KOICHI_YAMAMOTO@HK.MUFG.JP

株式会社 三菱 UFJ 銀行
MUFG Bank, Ltd.
(Incorporated in Japan with limited liability)
A member of MUFG, a global financial group

2022 年 12 月 22 日、香港政府創新科技及工業局 (ITIB) は、2032 年までのイノベーション&テクノロジー (I&T) 分野振興の方向性を示す「香港創新科技發展藍図 (以下、青写真)」を発表し、香港を国際的な I&T センターにするべく全力で取り組む姿勢を示した。李家超行政長官は去年の施政演説¹にて、第 14 次 5 年計画と連携し、香港を国際的な I&T センターとして全速力で発展させることを提案しており、今回の青写真はそれを受けて策定された。青写真は 4 つの開発方向の下で 8 つの主要戦略を策定しており、本稿では主な内容を紹介したい。

1. 香港における I&T 開発の強み、そして課題

香港の大学のうち 3 校が世界で最も国際的な大学の中でトップ 10 にランクされている²ことが示す通り、香港の I&T 人材は世界の中でも優位な位置にある。また、大学教育資助委員会 (UGC) が実施した「研究評審工作 2020」³における評価によると、香港の大学の研究プロジェクトの 70%以上が国際的に優れており、このうち 25%が世界をリードしているという。

一方で、香港は成熟したテクノロジー産業が欠けており、科学技術を学ぶ香港の卒業生はより良い見通しを持つ主要な伝統産業や香港の外でのキャリアを追求する傾向があることや、香港における生活費 (特に住宅賃貸料) の高さは、中国本土及び海外の才能を香港に引き付けるうえで課題となっている。

また、香港の土地コストが高いため、企業は短い時間で最大の利益を生み出すことができる不動産開発プロジェクトなどに投資する傾向があり、投資回収期間が長い R&D 拠点の設立に対するインセンティブは乏しい。そして香港市場の規模の小ささから、イノベーションの商業化はゆっくりとしたペースにならざるを得ない場合が多い。

以上の課題へ取り組むべく、青写真では 4 つの開発方向、すなわち①香港の I&T エコシステムを強化し「新型工業化」を促進する、②I&T 人材プールを拡大し、成長への強力な推進力を生み出す、③デジタル経済の発展を促進し、香港をスマートシティに発展させる、④国家の全体的な発展に積極的に統合し、中国本土と世界を結ぶ懸け橋としての役割を強化する、に基づいて今後 10 年間で香港を国際的な I&T センター発展させるための 8 つの主要戦略が示された。

¹ 当室が発行するニュースフォーカス【2022 年第 12 号】をご参考: <https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/NF2022-12JP.pdf>

² <https://www.timeshighereducation.com/student/best-universities/most-international-universities-world>

³ <https://www.ugc.edu.hk/eng/ugc/activity/research/rae/rae2020.html>

2. 8つの主要戦略の内容

主要戦略	概要(抜粋)
<p>1. I&Tエコシステムを強化し、上流、中流、下流セクターのインタラクティブな開発を促進</p>	<p>I. 大学の基礎研究活動・施設への支援強化</p> <p>II. 研究開発(R&D)成果の変革と実現を奨励する取り組みを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 創新科技署(ITC)は2023年に100億香港ドルの「研究、学術、産業セクターワンプラススキーム」を開始し、優れたR&D成果の商業化を促進するスタートアップになる可能性のある少なくとも100の大学の研究チームにマッチングベースで資金を提供 <p>III. 香港で発展する優位性を持つテクノロジー産業を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 生命と健康技術、AIとデータサイエンス、高度な製造と新エネルギー技術産業の発展を促進するために、ITIBは重点企業誘致弁公室(OASES)と協力し、2024年から300億香港ドルの「共同投資ファンド」、50億香港ドルの「戦略的技術ファンド」を設立
<p>2. 香港における技術産業の発展促進と「新型工業化」達成</p>	<p>I. I&T土地供給を増やし、支援インフラをアップグレード</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サイバーポート第5次拡張プロジェクトが2025年に完了予定。サイエンスパーク拡張プログラムのステージ2最初の作業が2025年までに完了予定。香港深圳イノベーション&テクノロジーパーク(HSITP)の建設工事を、2024年末から段階的に開始 ■ 北部都会区⁴における新田テクノポールでの最初の建設を2024年に開始 ■ 2027年までに「大埔InnoParks」に2番目の先進製造センターの開発を検討 <p>II. 一流企業を呼び込むために、関連する産業R&D及び設計センターの設立を奨励</p> <p>III. 戦略産業(新エネルギー車や半導体チップ等の先進製造業)への支援強化</p> <p>IV. 大湾区の先進製造業の国際化の実現に向けて主導的な役割を果たす</p> <p>V. 技術の研究開発を促進し、技術移転と商業化を加速することを奨励</p>
<p>3. ベンチャーファイナンスの多様化とスタートアップ産業の発展支援</p>	<p>I. イノベーション&テクノロジーベンチャーファンド(ITVF)の運用強化</p> <p>II. 既存の上場制度を最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ HKEXは市場のフィードバックと関連するリスクを考慮して、メインボード上場規則を改訂し、2023年には5種類⁵のテクノロジー企業の上場が可能に <p>III. 香港におけるスタートアップ育成支援の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Smart Government Innovation LabやE&M InnoPortalなどの既存プラットフォームを通じて、政府部門と地元のスタートアップや中小企業との連携を強化 ■ サイバーポートベンチャーキャピタルフォーラムや、香港サイエンスパークが主催するエレベーターピッチコンペティションなど、様々なI&T関連の活動を継続 <p>IV. 共同投資ファンドの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファンドは香港に進出する企業を誘致し、その事業が香港の産業発展を牽引する可能性を考慮して、共同投資を検討 <p>V. 香港投資管理有限公司(HKIC)を通じて戦略的技術産業の発展を積極的に支援</p> <p>VI. 香港のI&T産業に投資する外資をより多く呼び込む</p> <p>VII. 香港と深圳の投資連携と協力を強化</p>

⁴ 当室が発行するニュースフォーカス【2022年第1号】をご参考：<https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/NF2022-01JP.pdf>

⁵ ①次世代情報技術、②先端ハードウェア、③先端材料、④新エネルギー・環境保護、⑤食料・農業新技術

<p>4. I&T文化を普及し、地域社会全体のI&Tの雰囲気醸成</p>	<p>I. I&Tの雰囲気を醸成する活動に対する助成金制度による支援</p> <p>II. 広報活動を強化することで、社会の様々なレベルでのI&Tの普及を促進</p> <p>III. 地域社会の様々なセクターや地区の組織との協力関係を強化</p> <p>IV. 主要なI&Tイベントへ地域社会全体の参加を促進</p> <p>V. 科学関連の展示会場を活用し、全ての人へ科学教育を推進</p>
<p>5. I&T人材リソースの充実と国際人材ハブの開発</p>	<p>I. 大学がより多くのI&T関連プログラムを提供することを奨励</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 今後5年間で、UGCが資金提供する学生の35%が科学、技術、工学、芸術、数学に関連する科目を学び、60%が第14次5カ年計画に記載されている香港への発展に関連する科目を学ぶように目標設定 <p>II. 学校におけるI&T関連教育のさらなる推進</p> <p>III. 中国本土及び海外の優秀なI&T人材を積極的に誘致</p> <p>IV. 海外留学中の香港人を香港に呼び戻す取り組みを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 海外の香港経済貿易事務所(ETO)を通じて留学している香港の学生に働きかけ、香港のI&T開発を紹介し、優先的に香港でのI&Tインターンシップの機会を提供 <p>V. 中国本土及び海外の若手研究者の採用活動を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ITF傘下のリサーチ・タレント・ハブを通じて博士号を持つ研究者に追加の生活手当を提供するほか、UGCが資金提供する研究大学院(RPg)の枠を既存の5,595人から7,200人に徐々に増やしていく <p>VI. 若手研究者への支援強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 優秀若手科学者基金の助成金枠をさらに増やし、中国国家科学基金の枠を香港の研究者へ開放するために、中央政府へ働きかけ <p>VII. I&T人材への宿泊支援を強化</p> <p>VIII. I&T人材の帰属意識を育む</p>
<p>6. デジタル経済とスマートシティの開発を加速し、市民の生活の質を向上</p>	<p>I. スマートな政府の構築を加速させ、行政サービスの効率化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ すべてのライセンス、申請と承認に関わるサービス、フォームの申請、支払い、書類回収のオンライン化は、2024年半ばまでに開始予定 ■ 2025年末までに香港居民向けワンストップデジタルサービス「iAM Smart」を採用 ■ 2024年末までに金融機関による顧客の身元確認を容易にする手段を開発 ■ 2025年末までに100を超えるデジタル政府イニシアチブを実施 <p>II. 空間データの活用を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2022年末までに、計画、土地、歩行者ネットワーク、国勢調査と評価統計、スマートメーター駐車場の分布と利用状況などのデータを網羅した空間データを一般公開 <p>III. 新たなデジタルインフラの開発を加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ データセンターの使用可能床面積は2022年から2026年にかけて70万㎡以上増加すると予想され、既存の80万㎡と合わせて総面積は150万㎡に ■ 全ての新しい開発エリアにスマート街灯を導入しリアルタイムで都市データを収集 ■ 包括的な5Gネットワークの開発を促進するために、モバイルネットワーク事業者へ適切な政府施設とスマート街灯を引き続き開放 <p>IV. スマートリビングを促進するためのI&Tの適用を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スマートモビリティを推進し香港の道路スペースの使用を最適化 ■ 香港の気候行動計画2050に従って、グリーンR&Dを推進

	<ul style="list-style-type: none"> ■ デジタルインクルージョンを促進し、65 歳以上の高齢者がインターネットや電子サービスを利用する割合を 2023 年には 75%以上に、2030 年には 90%以上に <p>V. 金融テクノロジーの開発を加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ より多くのフィンテックサービスと製品が概念実証実験を受けることを奨励 ■ 香港における仮想資産の開発に関する政策に関連して、政府は金融規制当局と連携し、投資家頼後に必要なガードレールをタイムリーに導入 <p>VI. 安心して信頼性の高いサイバー環境を構築するために様々なセクターと協力</p>
<p>7. 国家開発全体へのより良い統合のために中国本土との I&T協力を深める</p>	<p>I. イノベーション要素の国境を越えた移動を促す措置を、中国本土の関連当局と検討</p> <p>II. Lok Ma Chau Loop における HSITP の開発を進める</p> <p>III. 広州南沙と深圳前海それぞれ 2 つの主要な協力プラットフォームを最適に活用</p> <p>IV. イノベーションのための国家機関との相互作用を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 政策立案に関して、国際 I&T センターとしての香港の発展に関するタスクフォースを中華人民共和国科学技術部(MOST)と共に設置し、中国本土と香港の協力を促進 ■ 人的交流に関して、香港の科学研究者が国家レベルの科学技術プログラムへ参加することを積極的に奨励 ■ 特許に関して、香港の出願人が中国本土での特許出願の優先審査を享受可能に ■ 国家の科学研究開発に関して、特に生命と健康科学の研究における機会を提供 <p>V. 中国本土の様々な省や自治体との I&T 協力を強化</p>
<p>8. 国際都市としての香港の優位性を活用し、グローバルな I&T協力を促進</p>	<p>I. 中国本土と世界をつなぐ架け橋としての役割を強化</p> <p>II. グローバルネットワークを積極的に拡大</p> <p>III. 海外で I&T 協力を開始するための支援を強化</p>

3. まとめ

青写真では香港を国際的な I&T センターへと発展させるための主要戦略が策定された。政府は成熟したテクノロジー産業の欠如という香港の課題を認識しており、「新型工業化」という新しいキーワードを掲げて戦略産業として位置づけられた新エネルギー車や半導体チップなどの先進製造業の発展を支援する方針だ。I&T 用地供給のため、2024 年には Lok Ma Chau Loop での香港深圳イノベーション&テクノロジーパークや新田テクノポールの建設を開始するとあり、「北部都会区」構想実現の観点からの一歩前進であるといえよう。

また、政府はこれまで停滞していた R&D 成果の商業化を加速するため、100 億香港ドルの助成金を新設し、産官学連携を強化する。2024 年には香港への進出を誘致する 300 億香港ドルのファンドも設立され、香港のテクノロジー産業の発展に大きく寄与することが期待される。中国本土や海外の優秀な人材を誘致するには、香港でのキャリア形成が魅力的に映るよう、香港のテクノロジー産業の成熟が欠かせない。

最後に、青写真でありながらも、実施状況を確認するための参考指標(Appendix 参照)が示されている。例えば製造業の対 GDP 寄与率について、2016 年の 1.2%から 2022 年に 1.0%へと低下しているが、これを 2027 年までに 1.5%、2032 年までに 5.0%へ引き上げるといった意欲的な目標だ。「結果を出す政府」を標榜する李家超行政長官の任期 2027 年までにどれだけ実現できるかが注目される。当室では今後の動向について引き続き情報提供を行いたい。

以上

4. Appendix

	参考指標	2016年 (2014年数値)	2022年 (2020年数値)	2027年 (2025年数値)	2032年 (2030年数値)
1. R&D					
	国内研究開発総支出(GERD)の 対GDP比	0.74% (HKD167,270億)	0.99% (HKD265,540億)	1.3%	2%
	一人当たりGERD	HKD 2,306	HKD 3,575	HKD 5,000	HKD 9,000
	公共:民間の研究開発費比率	56:44	58:42	50:50	40:60
2. スタートアップ					
	コワーキングスペース、 インキュベーター、アクセラレーターで 活動しているスタートアップ数	1,065	3,755	約 5,000	約 7,000
	ユニコーン企業数(累計)	0	12	18	30
3. 人材					
	I&T産業従事者数	35,450	45,310	60,000	100,000以上
	労働人口千人当たりのI&T産業 従事者数	9.15	11.56	16.54	28.05
4. 産業発展					
	製造業の対GDP寄与率 (基本価格ベース)	1.2%	1.0%	1.5%	5%

	発行日	タイトル
2023 年第 2 号	2023/2/27	2023-24 年度香港財政予算案
2023 年第 1 号	2023/2/1	香港における交椅洲人工島建設計画
2022 年第 14 号	2022/12/5	香港における ESG 動向

当室が発行した過去のニュースフォーカスについて、以下のリンクよりご参照：

(日本語) https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_JPN.pdf

(英語) https://www.bk.mufg.jp/report/chi200402/Archive_ENG.pdf

- These materials have been prepared by MUFG Bank, Ltd. ("the Bank") for information only. The Bank does not make any representation or warranty as to the accuracy, completeness or correctness of the information contained in this material.
- Neither the information nor the opinion expressed herein constitute or are to be construed as an offer, solicitation, advice or recommendation to buy or sell deposits, securities, futures, options or any other financial or investment products. The Bank [MUFG Bank] is a licensed bank regulated by the Hong Kong Monetary Authority and registered with the Securities and Futures Commission to carry out Type 1 and Type 4 regulated activities in Hong Kong.
- All views herein (including any statements and forecasts) are subject to change without notice, its accuracy is not guaranteed; it may be incomplete or condensed and it may not contain all material information concerning the parties referred to in this material. None of the Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates is under any obligation to update these materials.
- The information contained herein has been obtained from sources the Bank believed to be reliable but the Bank does not make any representation or warranty nor accept any responsibility or liability as to its accuracy, timeliness, suitability, completeness or correctness. Therefore, the inclusion of the valuations, opinions, estimates, forecasts, ratings or risk assessments described in this material is not to be relied upon as a representation and / or warranty by the Bank. The Bank, its head office, branches, subsidiaries and affiliates and the information providers accept no liability whatsoever for any direct or indirect loss or damage of any kind arising out of the use of all or any part of these materials.
- Historical performance does not guarantee future performance. Any forecast of performance is not necessarily indicative of future or likely performance of any product mentioned in this material.
- The Bank retains copyright to this material and no part of this material may be reproduced or re-distributed without the written permission of the Bank and the Bank, its head office, branches, subsidiaries or affiliates accepts no liability whatsoever to any third parties resulting from such distribution or re-distribution.
- The recipient should obtain separate independent professional, legal, financial, tax, investment or other advice, as appropriate. Copyright 2023 MUFG Bank, Ltd. All rights reserved.